

知的障害の兄貴の労働と生から

話し手・門平 公夫さん（障害者・子ども・困窮する人々との同行者40年）

9月27日（木）6時半～ 越谷市中央市民会館 5階会議室

このべんきょう会は、障害者が地域で働くというテーマをきっかけにしながら、障害のない人の働き方や暮らし方を含めて、フリーに語り合おうという会です。一回、一回、話し手をお願いし、それを口火としておしゃべりしますので、初めての方でもどうぞおいで下さい。

今回は、かつて埼葛福祉事務所や越谷児童相談所のケースワーカーもしておられた門平さんにお願いしました。

終了後お時間のある方は、近くのファミレスでおしゃべりの続きを楽しみましょう。



会費・200円

主催・NPO 法人障害者の職場参加をすすめる会

048-964-1819



第34回 共に働くまちを拓くべんきょう会

9月27日(木)18:30～
越谷市中央市民会館
5階 会議室
会費：200円(資料代)
(終了後、時間のある方は
ファミレスでおしゃべりしま
しょう)
NPO 法人障害者の職場
参加参加をすすめる会
048-964-1819
(職場参加ビューロー
世一緒)

兄は出産時の傷害で知的障害に。兄のことで児童相談所に行つたが十分に相談にのつてもうえなかつた母の恨みつらみが自分にも残り、後に相談を受ける側になるという巡り会わせとなる。

生活保護、障害者福祉のケースワーカーを経て児童相談所に勤務し、昨年春定年退職する。「子どもの問題行動は大人たちとのかかわりを求める子どもの表現」と強調する門平さん。「障害」と呼ばれる何かも、孤立を脱し誰かとつながるうとする表現かもしれませんね。そんな門平さんに一緒に暮らしてきたお兄さんの労働と生から感じられたことなどをお話しいただきます。

門平さん等著 子どもたちは、いま」(500円)も

当日販売しますので、読んでない方はこの機会にお

買い求めを。

話し手

(障害者・子ども・困窮する人々との同行者40年)

門平 公夫さん



知的障害の兄貴の労働と生から